# 社員と顧客、地域から必要とされる 四国の企業

和洋生菓子製造・販売のあわしま堂（愛媛県八幡浜市）と総合リサイクル企業の協同回収（香川県三豊市）は業務改善提案や新たな社内制度の策定などを推進し、働きやすい職場づくりに力を入れている。これらの取り組みは評価が高く「第4回四国でいちばん大切にしたい会社大賞」で両社とも、中小企業基盤整備機構四国本部長賞を受賞しているほど。同大賞は四国地域イノベーション創出協議会による顕彰制度で社員や顧客、地域から必要とされ「大切にしたい会社」と思われる企業を表彰するもので、社内外で支持された改革・工夫のブラッシュアップは現在も続いている。そこで、中島龍三郎中小企業基盤整備機構四国本部長が、あわしま堂と協同回収を訪問。現場リポートとインタビューを通じて両社の事業戦略、経営のポイントなどを紹介してもらった。

## 頑張る企業リポート

### 現場訪問　あわしま堂、協同回収

◁ ◀ ◁

中小企業基盤整備機構四国本部長
**中島 龍三郎**

### 社員に活気と明るさ充満

協同回収の柴田代表は家庭の事情もあり22歳で創業、強いリーダーシップを発揮する経営手法により、同社を15年余りで香川県内全域において総合リサイクル業を展開するまでに成長させている。

あわしま堂の木綱社長は、同社が1927年に愛媛県八幡浜市内にて創業して以来、4代目社長となる。いわゆる中堅企業まで成長した中で現在、自らも現場に出て社員と一緒になって業務改善などを実施する方針を貫いている。

両社には業種や会社の歴史・企業規模などに違いはあるものの、共通する点も多く存在している。今回、両社を訪問しての印象は、トップの意図することが社員に行きわたっており、社員には活気や明るさが満ちあふれていた。社員同士がお互いに助け合う社内風土を感じた。また、子育て中の女性が働きやすい職場環境を整えるなど、高齢者の雇用など、末永く働くことができる会社として安定した雇用を生み出している。

協同回収は地域のスポーツ支援、あわしま堂は地元病院と糖尿病の患者でも食することが可能な御菓子の研究開発を始めるなど、地域とのつながりをとても大事にしている。今日では当該地域において、両社ともなくてはならない存在となっており、引き続きそれぞれの地域で成長発展し、中核的な存在として地域活性化の役割を果たされることを期待したい。

四国地域は人口減少や高齢化率が他地域より先行しているが、社員や家族を大事にして地域に根ざした会社経営を行っている両社のような企業が、今後とも増えていくことを切望する。人口減少や超高齢化というピンチをチャンスに変えるという地方創生への取り組みは「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン及び総合戦略」に基づき、各地域において具体的な検討が進められている。

中小企業基盤整備機構は、企業の発展段階に応じた支援メニューを用意しており、四国本部としても他の支援機関と協力・連携し小規模事業者から中堅企業に至るまで、ご要望に応じた支援を行い地域活性化のために尽力していきたいと考えている。

---

*INTERVIEW*

協同回収代表
**柴田 正規 氏**

### "家族主義経営"を実践

―リサイクル事業を始めたきっかけは。

「協同回収の創業は22歳の時だ。家庭の事情で勤めていた会社を仕方なく辞めることになり、トラック1台で創業した。そのころは資源価格が安く、行商で1件ずつ顧客を訪問し古いバッテリーや鉄クズなどの資源物を回収する業者はめずらしかった。顧客の悩みなどを直接聞けたことが後々、財産となった。当時は資源となるものでも回収費用をもらい廃棄物扱いとして回収する業者が多く、顧客が困っていた利益の少ない資源を有価物として買い取りで回った。結果、自分の知識や工夫で資金のかからないリサイクル技術ができた。今では、わが社の強みはデジタル家電やパソコンなど、基板のついたものを分解するリサイクル技術である。この技術で事業が発展した。香川県をはじめ西日本全域から持ち込まれている」

―現在の事業内容は。

「金属やプラスチック、電化製品、古紙などのリサイクル、産業・一般廃棄物処理に加え中古品の買い取りや小売りなどを展開。資源のリサイクル回収拠点『Eco（え～こ）ステーション』、リサイクルシステムの選別ラインには多くの障がい者が従事している。彼らは人一倍集中力があり、作業を丁寧に粘り強く取り組む能力にたけており、こつこつと一生懸命に作業をこなしている。人の役に立ちたいと思い、社会の一員として働き認められ成長し生きていくと願っているため、仕事に対して真剣だ。制度面でも障がい者と健常者を同様の基準で評価する人事制度を導入している。障がい者も適材適所で働いているが、彼らは重要な戦力であり、なくてはならない存在だ」

―高齢者や女性の働きやすい職場環境とは。

「65歳で定年となった従業員が希望すれば年齢制限を設けず働き続ける制度を整えた。短時間労働制度を導入、子育て中の女性が働きやすい職場環境を整備した。社員同士がお互いさまの精神で互いに助け合い、家族のように接する家族主義経営を実践している」

―従業員を大事にし、生き生き働ける環境づくりが評価され「四国でいちばん大切にしたい会社大賞」を受賞しての感想は。

「選ばれた喜び以上に責任を感じる。公の機関に評価され、お墨付きをいただき安心して取引ができるとともに、自然の摂理にあっていないと感じた。大きい会社より強い会社、地震や津波、世界恐慌が来ても倒産しない会社を目指す。リーマン・ショックから再建できたのは従業員や地域社会、業界の先輩たちのおかげだ。業界の先輩たちには微力ながら恩返しのつもりでメタル分離回収システムなど自分のノウハウを全てオープンにした。これからも社会の弱者の声に耳を傾け地域貢献などに取り組んでいく」

【企業プロフィル】
▽本社所在地＝香川県三豊市、0875・83・5252▽資本金＝1000万円▽従業員＝59人▽創業＝1999年（平11）1月▽事業内容＝金属などの再資源化など、総合リサイクル業

---

*INTERVIEW*

あわしま堂社長
**木綱 徳勝 氏**

―事業内容を教えて下さい。

「『美味しさつくり、笑顔つくり』を経営理念に和洋菓子の製造・卸を手がける。手作りの色合いが強い和菓子だが独自開発の生産ラインにより大量生産を実現した。商品アイテムは全部で500以上。常時、120種類の商品を一日110万個生産している。商品開発に関しては試行錯誤を繰り返し、年間約170種類以上の新商品が誕生している。本社（愛媛県八幡浜市）のある愛媛工場では九州・中四国地区に、京都伏見工場（京都市伏見区）では関西や中部、東海、北陸、関東へ出荷している」

―栃木に新たな生産拠点を建設中とのことですが。

「栃木県の佐野市に『栃木佐野工場』を建設中だ。2015年11月から稼働の予定だが今まで関東向けは京都工場で生産していたが、需要の高まりにより関東進出を決めた。愛媛や京都工場にも言えるが、水が豊富できれいなこと、地盤が強く高速道路のアクセスが良いなどで進出を決めた。これからは東北地方や上信越への卸販売を強化し将来的には全国どこでも、わが社のお菓子が購入できる体制を目指す」

―女性が活躍するための職場改革を推進しているとのことですが。

「従業員はパート職員200人を含め800人。正社員600人のうち女性は約300人。最近は女性が増えているが意識的に女性を雇用しているわけではなく、必然的に優秀な人を採用し続けていた結果、女性が増えている。働きやすい職場づくりという意味では女性活躍推進プロジェクトを立ち上げた。プロジェクトからは新しい制度の提案があり、13年12月にはパート従業員を含め全従業員への育児休暇の義務化の提案があり制度導入を決めた。男性従業員にも最低5日間の育児休暇を義務づけた。男性が育児に関われば女性の育休取得への理解が広がる。女性の気持ちがわかるようになり職場が円滑化するだけでなく、営業や商品開発にも効果が期待できる。全社的に残業を減らし定時退社を基本とする社内風土を定着させた。余暇を楽しむことも必要で仕事にも良い影響が出ている」

―5S活動をはじめ、改善提案活動に積極的に取り組んでいるとのことですが。

「年間3000点以上の改善提案がある。小さな改善提案の積み重ねが品質向上につながり作業効率を促進している。例えば、和菓子の製造工程で工夫をして炊き出し時間を半分に短縮したり、商品コンベヤーの操作スイッチ位置を変えるだけで格段に作業の流れがスムーズになり、効率化が図れて作業がしやすくなるなどがある。現場が改善意識を持ち続け、現場でしか思いつかないことに対し、会社がしっかり耳を傾けることが必要だ」

―新たな試みは。

「八幡浜市から糖尿病の患者向け商品開発の話があり、八幡浜市立病院と共同で糖尿病患者が食べても血糖値が上がりにくい商品の開発を始めた。地域貢献もあり、続けていきたい」

―今後の抱負は。

「八幡浜市の各団体と協力し子供の夏休みイベントを開いたり、地元のスポーツイベントに参加するなど地域の活性化に協力していく。15年11月に栃木佐野工場を稼働する」

―四国でいちばん大切にしたい会社大賞を受賞しての感想は。

「社員が笑顔で仕事ができ、成長し続けることができる職場環境づくりを目指し取り組んできた。そのことを評価いただき光栄に感じる。今後ともこの賞に恥じないよう会社経営をしていきたい」

【企業プロフィル】
▽本社所在地＝愛媛県八幡浜市、0894・36・2177▽資本金＝2億1393万円▽従業員＝800人▽創業＝1927年（昭2）7月▽事業内容＝和洋生菓子の製造・卸

### 職場の声に耳傾け改善


中小機構 四国

中小機構四国は、四国4県の中小企業・小規模事業者の皆様へ
四国地域の特性を活かした多様なサービスで応援しています。

創業・新事業展開をサポート!
○地域資源・農商工連携・新連携の支援
○専門家の派遣　○無料窓口相談
○販路開拓支援・ビジネスマッチング

成長・発展をサポート!
○海外展開支援　○事業承継円滑化
○中小企業大学校（広島校・関西校）
○四国サイコーダイガク

地域活性化をサポート!
○まちづくり・中心市街地の活性化支援
○高度化事業
○四国でいちばん大切にしたい会社大賞

もしもに備えて、セーフティネットでサポート!
○小規模企業共済制度
○経営セーフティ共済制度
（中小企業倒産防止共済制度）

独立行政法人　中小企業基盤整備機構　四国本部　中小　四国　検索